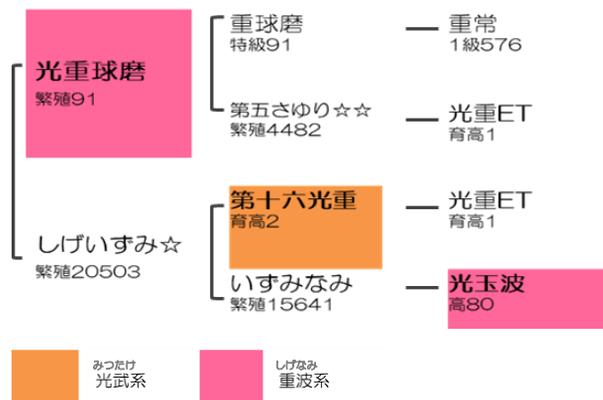


熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2020

みつしげくまなな 褐毛和種雄牛「光重球磨七」の選抜



問 研究のねらいは？

答 熊本県で昔から多く飼われている褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

問 本牛の特徴は？

答 現場後代検定では枝肉重量が去勢、雌ともに歴代1位を記録し、育種価も+100kgを超えるずば抜けた評価となり、ばらの厚さにも優れていることから、特に肉量面の改良への貢献が期待されます。

【現場後代検定成績】

(単位：kg、cm²)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(3等級以上)
去勢 4頭	25.0	591.4	65.8	8.8	4.1	72.8	4.50	100.0% (4/4)
雌 11頭	25.4	516.1	58.5	7.8	3.9	72.3	3.82	63.6% (7/11)

【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	590kg
ロース	64cm ²
バラ厚	8.1cm
BMSNo.	4
等級	A-3

形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい							大きい	4.96
ロース芯面積	小さい							大きい	1.93
バラの厚さ	薄い							厚い	2.29
皮下脂肪	厚い							薄い	-1.42
脂肪交雑	少ない							多い	1.23

標準化育種価 (SBV) とは？

各形質の育種価を同スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。